

令和4年度

観光文化スポーツ部運営プログラム

評価票

令和5年8月
観光文化スポーツ部

令和4年度 観光文化スポーツ部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

- (1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】
 - ① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

- (2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】
 - ② 観光地域づくりの推進
 - ③ 戦略的な誘客促進
 - ④ 地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】
 - ⑤ 国際ネットワークの形成促進
 - ⑥ 国内広域交通ネットワークの充実強化
- (4) 地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】
 - ⑦ 自然環境や文化資産の保全・活用・継承
- (5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】
 - ⑧ 県を越えた交流連携の推進

令和4年度 観光文化スポーツ部 主要事業実施状況

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保【1】

(1) 生涯を通じた多様な学びの機会の充実【1-2】



取組みの成果

① 県民や地域に活力をもたらす多様な学びの促進

K P I	県立文化施設等の来館者数					
	基準値（平成29年度）： 870,200人					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	100万人	100万人	100万人
	実績値	583,242人	926,826人	1,122,781人		
進捗状況	指標値どおりに推移					

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<文化芸術・スポーツ等に触れる機会の充実> (評価)

- 山形県総合文化芸術館における魅力ある公演・イベントの年間を通じた安定的な開催、遠方からの来館促進のための旅行商品造成等により、県内各地・県外から多くの来館があった。令和4年度の実績は473,853人となり、目標（26万人）を大きく上回った。
- 山形県生涯学習文化財団との連携による美術館・博物館が実施する企画展への支援の実施、及び県民に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供する文化施設・団体への支援、SNSでの情報発信等により、県民に魅力ある企画展や優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供した。
- 伝統文化の体験教室や県内各地に伝わる民俗芸能の披露を行う「やまがた伝統文化フェスタ」を開催し、親子をはじめ県民に山形の伝統文化を体験してもらう機会を提供した。
- 県立博物館での発掘30周年を迎えるマムロガワクジラの全化石を公開した「発掘30周年・マムロガワクジラ、新生代の海を泳ぐ～やまがた北部の古生物～」では、研究成果も加えて、化石の理解を深める展示を行ったほか、プライム企画展「女神たちの饗宴—『縄文の女神』国宝指定10周年—」では、5つの国宝土偶（複製）を一堂に展示し、国宝土偶の持つ魅力を再確認する企画を行った。また、子ども学芸員の取組みにより、学校教育と連携し、総合的な学びを支援した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、薄れた県民のプロスポーツへの興味や関心を取り戻すため、プロスポーツ団体への支援を引き続き実施した。

(見直しの方向性)

- 山形県総合文化芸術館の利用者との意見交換会等を実施し利用促進に向けた意見等を聴取することにより、施設の管理運営や企画事業の検討等に反映させるとともに、引き続き旅行者による旅行商品の造成を働きかけるなど、県内外からの来館者を増やすための取組みを進めていく。
- 美術館・博物館・文化施設・文化芸術団体への支援を通じて、引き続き県民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供していく。

- ・ 文化芸術団体等と連携し、親子で気軽に伝統文化を体験してもらう機会を創出する。
- ・ 県立博物館を生涯学習の拠点として、時機を捉えたテーマの設定や来館者ニーズを踏まえた魅力ある企画・展示を行っていくとともに、学校教育等との一層の連携を図っていく。
- ・ プロスポーツ団体への支援を通し、県民にプロスポーツに触れる機会を引き続き提供していく。

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
プロスポーツ支援事業費	128,253 (128,847)	・ 県内プロスポーツチームへの支援(3チーム) ・ プロスポーツを活用した地域の賑わいづくり活動への支援等	4
山形県文化芸術交流発信事業費	26,725 (26,760)	・ 県と文化団体との共同による地域のホール等を活用したオペラや演劇などの文化芸術鑑賞機会の提供(文化芸術鑑賞機会19事業実施)	4
文化による地域への愛着・誇り醸成事業費	4,591 (4,975)	・ 子ども達の伝統芸能や文化芸術活動の発表の場と地域で守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化体験機会の創出 ・ 親子で気軽に伝統文化体験や民俗芸能の鑑賞をしてもらう「山形伝統芸能フェスタ」を開催	4
文化団体等連携支援事業費	98,314 (98,758)	・ 県内の主要な美術館・博物館が実施する企画展及び山形交響楽団の活動への支援(美術館等の企画展等32事業への支援、山響の主催公演61事業等への支援を実施)	4
博物館活動整備事業費	4,746 (5,360)	・ プライム企画展の開催 「女神たちの饗宴ー『縄文の女神』国宝指定10周年ー」R4年10月1日～12月11日 「発掘30周年・mamlogawakujira、新生代の海を泳ぐ～やまがた北部の古生物～」R4年6月4日～8月28日	4
山形県総合文化芸術館事業費	20,246 (20,290)	・ 指定管理者との共催により、山形県総合文化芸術館を活かした本格的な舞台芸術鑑賞事業・施設に親しむ体験型事業を実施	4
計	282,875 (284,990)		

2 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化【3】

(2) 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化【3-3】



目標指標	観光消費額	
	基準値（平成30年度）： 2,177億円	
	直近値（令和3年度）： 1,252億円（前年値1,349億円 前年比▲97億円）	
	目標値（令和6年度）： 2,600億円	
	進捗状況	策定時を下回る

取組みの成果

② 観光地域づくりの推進

K P I	観光者数					
	基準値（平成30年度）： 46,507千人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—※	49,400千人	50,000千人
	実績値	27,511千人	30,059千人 (直近値)	—		
	進捗状況	その他（新型コロナウイルスの影響で指標値を設定せず）				
	平均宿泊数					
	基準値（平成30年）： 1.32泊（全国平均： 1.33泊）					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—※	全国平均以上	全国平均以上
実績値	1.32泊 (全国1.33泊)	1.42泊 (全国1.33泊)	1.42泊 (全国1.35泊) (速報値)			
進捗状況	その他（新型コロナウイルスの影響で指標値を設定せず）					

※ 新型コロナウイルスの影響による観光イベントの中止や規模を縮小した限定的な実施等、令和4年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<質の高いツーリズムの推進>

(評価)

- ・ 探究型学習やSDGs（持続可能な開発目標）に対応した教育旅行メニューを掲載したパンフレットを活用し、首都圏や関西圏、北海道・東北など幅広いエリアの旅行会社に対するセールス活動等を実施した。
- ・ 「やまがた出羽百観音」の認知度向上と来訪意欲の向上に向けた誘客プロモーション動画の制作や旅行商品造成に向けたオンラインセミナー等の開催、美食・美酒に関するガイドブックの制作など、山形ならではの魅力的な観光資源を活用したツーリズムの発信を行った。

- ・ 地域の実情に応じて先進的な知見を有するアドバイザーのもと誘客企画を検討するワークショップの開催などを通して、食や自然等をテーマに旅行商品造成などに取り組み、人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進した。
- ・ 「『巡るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島』春の観光キャンペーン」(以下「南東北重販」という。)における「山形ならではの」の魅力を伝えるガイドブックやインフルエンサーの招聘、WEB・SNSを活用した情報発信、デジタル広告配信等のほか、東北中央自動車道を活用したデジタル周遊スタンプラリーの実施などにより、観光誘客を推進した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ県内地域経済回復のために、県内の宿泊・日帰り旅行に対する割引及び県内の観光立寄施設等で利用できるクーポンの配布を行う「やまがた春旅キャンペーン」等の県民割事業及び「全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン～」を実施した。
- ・ ポストコロナを見据え、宿泊施設等を対象に、マイクロツーリズム、ワーケーション、ユニバーサルツーリズム等に対応した施設改修や新たなコンテンツ開発、新型コロナウイルスの感染防止対策にかかる経費の支援を実施した。

(見直しの方向性)

- ・ コロナ禍の中で学校が近隣県へ旅行先を変更している現状があるため、ポストコロナに向け、SDGsなど教育業界のニーズに適合した切り口で、引き続き首都圏や関西圏など幅広いエリアの旅行会社及び教育機関へのセールス活動や招請事業を実施する。
- ・ 引き続き、「やまがた出羽百観音」等の精神文化の更なる認知度向上や来訪意欲の向上に資する情報発信を強化するとともに、本県が誇る観光資源を活用した各種ツーリズムの発信・展開等により本県への誘客を推進していく。
- ・ 継続してアドバイザーを通じて全国の先進事例を取り込む等人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進する。
- ・ 南東北重販において磨き上げた観光素材を活かして、引き続き観光誘客を推進する。
- ・ 観光事業者のDXの推進、ポストコロナに対応したコンテンツ開発や施設改修、高付加価値化に向けた取組み等への支援を実施していく。

<四季のリゾート“世界の蔵王”としての確立>

(評価)

- ・ 蔵王温泉、蔵王坊平、蔵王猿倉地域全体の総合的な情報発信基盤として構築した蔵王総合情報サイト「feel the ZAO」を運営した。
- ・ 高齢者や障がい者も楽しめるバリアフリーな観光促進に向けたモニターツアーを行った。

(見直しの方向性)

- ・ 四季を捉えた滞在コンテンツや特集記事の充実など、蔵王総合情報サイトの内容を拡充することにより情報発信を強化する。
- ・ SDGsを念頭に、蔵王地域を誰もが楽しめる観光地としていくため、バリアフリー観光に係る受入態勢の向上に向けた研修や、地域におけるバリアフリー受入態勢整備に向けた調査等を実施していく。

<観光地域としての受入環境の整備>

(評価)

- ・ 南東北重販開催にあたり、交通の拠点となる駅と観光地などを結ぶバス運行への支援や県内各地域で実施する観光客のお出迎え(パンフレットやノベルティの配付等)支援等を実施し、受入態勢を整備した。

(見直しの方向性)

- ・ 引き続き観光地までの二次交通整備やおもてなしへの支援を行い、受入環境の向上を図る。

<広域的な交通ネットワークの利便性向上と広域観光周遊ルートの形成>

(評価)

<ul style="list-style-type: none"> 外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田空港・成田空港）から本県への旅行商品造成のため、インフルエンサー招請や OTA（オンライントラベルエージェント）での情報発信を行った。 <p>（見直しの方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> JR 東日本や新潟県と連携し、外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る。 <p><観光地域づくりの担い手の育成></p> <p>（評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山形おもてなしドライバー検定」（受講者 29 名）及び「山形観光アカデミー」による研修（3 講座、計 151 名）を実施し、観光関係事業者のおもてなし力向上を図った。 地域の実情に応じて先進的な知見を有するアドバイザーのもと誘客企画を検討するワークショップの開催などを通して、食や自然等をテーマに旅行商品造成などに取り組み、人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進した。（再掲） <p>（見直しの方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「山形おもてなしドライバー検定」の実施や、オンラインも活用しながら、危機管理に関する講座を含めた「山形観光アカデミー」による研修を実施し、おもてなし力の向上に向けた観光人材の育成を図る。 継続してアドバイザーを通じて全国の先進事例を取り込む等人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進する。（再掲）

【令和 4 年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 （予算額）	事業実施状況	関連する SDGs の ゴール
観光誘客緊急対策事業費（2月補正）	9,325,262 (13,480,369)	・「全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン」及び「やまがた春旅キャンペーン」等の県民割事業を実施	8
ポストコロナに向けた観光復活推進事業費	39,428 (41,491)	・県内4地域において、地域の実情に応じて先進的な知見を有するアドバイザーのもと誘客企画を検討するワークショップの開催などを通して、食や自然等をテーマに旅行商品造成に取り組むなどにより、人材のレベルアップを図り、新たな観光地づくりを推進 ・着地型旅行商品の販売拡大に向けたデジタル広告の配信及び旅行会社における広告宣伝への支援を実施 ・首都圏（羽田・成田空港）から入国する外国人旅行者の本県への誘客のため、インフルエンサー招請や OTA を活用した情報発信を実施	8
ポストコロナに向けた観光施設支援事業費（2月補正）	248,700 (248,700)	・山形県観光施設支援事業費助成金を実施。437 件の申請があった。 (村山 218 件、最上 47 件、置賜 89 件、庄内 83 件)	8
やまがた的グリーン・ツーリズム推進事業費	9,743 (9,923)	・「やまがた的グリーン・ツーリズム」HP やグリーン・ツーリズム NEWS（年 3 回、計 57,000 部発行）により、旬のグリーン・ツーリズム情報を首都圏や近県に向けて発信	8

観光連携推進事業費	75,868 (76,317)	・(公社)山形県観光物産協会が実施する本県観光振興を図るための事業に対して助成	8
観光キャンペーン推進事業費	29,160 (29,160)	・官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」の負担金	8
教育旅行推進事業費	17,637 (18,073)	・貸切バスへの助成、受入態勢の整備等に誘致活動の実施等	8
雪を活用した観光誘客支援事業費	19,435 (19,566)	・観光客が減少する冬期間に広域的な観光誘客を取組むことで、年間を通じた観光交流に拡大を図るため、県内冬の大型イベントとしての官民挙げた取組を実施(やまがた音と光のファンタジアを開催)	8
地域広域観光推進事業費	12,725 (12,732)	・各総合支庁において、地域の広域観光協議会と連携のうえ、地域ならではの特色や強みを活かした観光資源の発掘や磨き上げを図りながら観光誘客を推進	8
「世界の蔵王」プロジェクト推進事業費	10,729 (11,234)	・「世界の蔵王」プロジェクト事業推進に向けて、蔵王情報総合サイトの運営や、誰もが楽しめるバリアフリーな観光の促進のためのモニターツアー等を実施	8
精神文化ツーリズム推進事業費	10,523 (10,579)	・本県の強みである「やまがた出羽百観音」等の精神文化のブランド化に向けて、誘客プロモーション動画の制作や、旅行商品造成に向けたオンラインセミナー等を実施	8
観光誘客総合推進事業費	38,270 (38,362)	・「山形おもてなしドライバー検定」(受講者29名)を実施	8
計	9,837,480 (13,996,506)		

③戦略的な誘客促進

K P I	県観光情報ポータルサイトのアクセス件数					
	基準値(平成30年度):229万件					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	240万件	280万件	310万件	330万件	350万件
	実績値	162万件	215万件	364万件		
	進捗状況	指標値どおりに推移				
	外国人旅行者受入数					
	基準値(平成30年度):252,289人					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	—※	520,000人	600,000人
実績値	125,930人	17,083人	57,451人 (速報値)			

	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				
	延べ外国人旅行者宿泊者数					
	基準値（平成30年）：163,460人泊					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	—	—	—※	345,000 人泊	400,000 人泊
	実績値	87,440人泊	15,920人泊	27,740人泊 (速報値)		
	進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が継続され、令和4年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<観光関連産業の回復・活性化>

(評価)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ本県観光果樹園の入込者数をはじめ、県内観光者数の回復のために、さくらんぼを活用した誘客事業の実施、さくらんぼラッピングバス・トラックの運行、「さくらんぼ」の魅力を伝える映像の制作・発信、県内小学生のさくらんぼ狩り体験の支援を実施した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ県内地域経済回復のために、県内の宿泊・日帰り旅行に対する割引及び県内の観光立寄施設等で利用できるクーポンの配布を行う「やまがた春旅キャンペーン」等の県民割事業及び「全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン～」を実施した。（再掲）
- ・ ポストコロナを見据え、宿泊施設等を対象に、マイクロツーリズム、ワーケーション、ユニバーサルツーリズム等に対応した施設改修や新たなコンテンツ開発、新型コロナウイルスの感染防止対策にかかる経費の支援を実施した。（再掲）
- ・ 地域の実情に応じて先進的な知見を有するアドバイザーのもと誘客企画を検討するワークショップの開催などを通して、食や自然等をテーマに旅行商品造成に取り組むなどにより、人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進した。（再掲）
- ・ 南東北重販における「山形ならではの」魅力を伝えるガイドブックやインフルエンサーの招聘、WEB・SNSを活用した情報発信、デジタル広告配信等のほか、東北中央自動車道を活用したデジタル周遊スタンプラリーの実施などにより、観光誘客を推進した。（再掲）

(見直しの方向性)

- ・ 令和5年度に本格デビューする「やまがた紅王」やさくらんぼのブランドイメージを活用した観光誘客を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ本県観光者数の回復を図っていく。
- ・ 観光事業者のDXの推進、ポストコロナを見据えたコンテンツ開発や施設改修、高付加価値化に向けた取組み等への支援を実施していく。（再掲）
- ・ 継続してアドバイザーを通じて全国の先進事例を取り込む等人材のレベルアップを図り、新たな観光地域づくりを推進する。（再掲）
- ・ 南東北重販で磨き上げた観光素材を活かして、引き続き観光誘客を推進する。（再掲）

<情報発信の強化>

(評価)

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の特集記事、着地型旅行商品紹介ページの作成などサイトの充実を図った。

- ・ 多言語版の県観光情報ポータルサイト「STAY YAMAGATA」の特集記事作成、インバウンド向け動画「myyamagata」春版、四季統合版の作成などの充実を図った。
 - ・ 本県の観光地やイベント等について出題し、県内外の受検者に本県の観光について楽しみながら学んでもらう「山形県版ふるさと観光検定」を Web 上で実施した。
 - ・ 首都圏からの観光誘客の拡大を図るため、観光情報番組（「ワクワク！やまが旅」）を制作・放映し、本県の魅力ある観光情報を発信した。
- （見直しの方向性）
- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」について、知名度・認知度を向上させ、利用を促進する。
 - ・ 多言語版の県観光情報ポータルサイト「STAY YAMAGATA」について、知名度・認知度を向上させ、利用を促進する。
 - ・ 県版ふるさと観光検定について、問題内容の更新や拡充を図るとともに、様々なツールを活用した広報を行い、より多くの受検者の確保を推進していく。
 - ・ 観光情報番組を活用しながら、本県の魅力ある観光情報を発信し、首都圏からの更なる誘客拡大を図っていく。

<「観光デジタルマーケティング」の推進>

（評価）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の分析支援ツール「YAMA-DAS」を作成し、県や市町村等が自らアクセスデータの収集・分析を行い、分析に基づく効果的な観光施策の企画・立案を実施するための環境を整備した。
- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」や SNS のアクセスデータ、観光統計データの分析による旅行者の嗜好を踏まえたデジタルプロモーションを実施した。
- ・ 旅行者の嗜好を踏まえた記事の充実を図ったことで前年を上回るアクセスを確保した。

（見直しの方向性）

- ・ 県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」分析支援ツール「YAMA-DAS」を活用したアクセスデータの分析を継続して行うとともに、県内市町村に対しても活用を促すことで、データ分析に基づく観光施策の企画・展開を進めていく。
- ・ 東北観光推進機構等と連携し、広域的な Web アクセスデータや動態データ、消費データ等を活用することで、データ収集及び分析の強化を図る。

<インバウンドの推進>

（評価）

- ・ 渡航制限の緩和に対応し、旅行会社向けの助成を行うとともに、台湾、香港、韓国及びタイそれぞれの現地プロモーション等を展開し、県内への誘客を促進した。
- ・ 県内空港へのチャーター便誘致に向けて、台湾での情報発信などを行ったが、地方空港への国際線再開の遅れ等により、チャーター便運航は実現しなかった。
- ・ 仙台空港や東北観光推進機構、隣県等と連携し、台湾において仙台空港への国際線再開に向けた誘致活動を実施した。
- ・ 外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田空港・成田空港）から本県への旅行商品造成のため、インフルエンサー招請や OTA（オンライントラベルエージェント）での情報発信を行った。（再掲）
- ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、船会社やランドオペレーターへの招請、受入再開を見据えたセミナーなどを実施した。

（見直しの方向性）

- ・ インバウンドの本格再開に向け、旅行会社や航空会社向けの助成を実施し、県内へのインバウンド誘客を推進する。
- ・ 県内空港へのチャーター便誘致に向けて、現地コーディネーター等と連携し、航空会社や旅行会社に対する誘致活動を継続する。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣県や関係機関と連携し、国際線再開の機を逃さずに仙台空港からのF I T層の山形への誘客を図る。 ・ JR 東日本や新潟県と連携し、外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る。（再掲） ・ 外航クルーズ船について、隣県と連携し運航決定権のある船会社幹部の招請など誘致活動を継続する。

【令和4年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
さくらんぼを活用した誘客事業費	19,622 (19,622)	・「さくらんぼ県山形」のブランドイメージを活用した観光誘客の推進。ラッピングバス、ラッピング新幹線の運行。インフルエンサーを活用した情報発信を実施。	8
山形県版ふるさと観光検定事業費	11,198 (11,199)	・WEB上において、無料で受検可能な「山形ふるさと観光検定」を実施（総受検数：32,293回）	8
観光誘客緊急対策事業費（2月補正）（再掲）	9,325,262 (13,480,369)	・「全国旅行支援～やまがた旅割キャンペーン」及び「やまがた春旅キャンペーン」等の県民割事業を実施	8
ポストコロナに向けた観光復活推進事業費（再掲）	39,428 (41,491)	・県内4地域において、地域の実情に応じて先進的な知見を有するアドバイザーのもと誘客企画を検討するワークショップの開催などを通して、食や自然等をテーマに旅行商品造成に取り組むなどにより、人材のレベルアップを図り、新たな観光地づくりを推進 ・着地型旅行商品の販売拡大に向けたデジタル広告の配信及び旅行会社における広告宣伝への支援 ・外国人旅行者の本県への誘客のため、インフルエンサー招請やOTAを活用した情報発信、誘致活動を実施	8
ポストコロナに向けた観光施設支援事業費（2月補正）（再掲）	248,700 (248,700)	・山形県観光施設支援事業費助成金の実施。 437件の申請 (村山218件、最上47件、置賜89件、庄内83件)	8
観光デジタルマーケティング・プロモーション事業費	19,428 (20,328)	・県観光情報ポータルサイト「やまがたへの旅」の分析支援ツール「YAMA-DAS」を作成。 ・令和5年3月9日に、分析支援ツールの操作説明会を開催し、41名の参加があった。	8
観光誘客総合推進事業費（再掲）	38,270 (38,362)	・「山形おもてなしドライバー検定」（受講者29名）を実施。	8
観光情報番組放映事業費	31,254 (31,254)	・首都圏からの観光誘客の拡大を図る観光情報番組「わくわく！やまがた旅」を放映（46回）	8
重点市場のポストコロナに向けた誘客推進事業費	50,072 (88,254)	・現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信等による重点市場（台湾、中国、香港、韓国、ASEAN）からの誘	8

		客推進 ・他県空港から入国した外国人旅行者を誘客するための旅行会社への支援を実施 ・台湾、香港、韓国、タイでの現地プロモーションを実施	
観光キャンペーン推進事業費（再掲）	29,160 (29,160)	・官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」の負担金	8
地域間交流・海外教育旅行推進事業費	1,540 (1,780)	・海外との交流事業を行う団体に対し支援を実施（2団体） ・本県と台湾の高校生の交流イベント（日台ともに4校参加）、及び南東北三県で連携した台湾教育旅行関係者の招請を実施	8
外航クルーズ船誘客事業費	1,246 (1,246)	・官民一体となったプロスパーポートセールス協議会を中心に、船社及びランドオペレーター各1社の招請、受入再開セミナーなどを実施	8
広域連携推進事業費	20,660 (20,660)	・東北観光推進機構等と連携した海外誘客事業を実施	8
ウィズコロナ国際チャーター便受入事業費	17,935 (42,694)	・台湾からのチャーター便運航実現に向けた現地の認知度向上及び機運醸成を図るため、現地旅行誌や旅行博出展、広告掲載等を実施	8
計	9,853,775 (14,075,119)		

④地域の特性や魅力を活かした多様な交流の促進

K P I	県内への文化・スポーツ合宿の新規誘致数					
	基準値（令和元年度）：3団体					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	3団体	3団体	3団体
	実績値	1団体	0団体	3団体		
進捗状況	指標値どおりに推移					

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

＜文化芸術活動・スポーツを通じた交流の促進＞

（評価）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響も和らぎ、首都圏からの合宿も戻りつつあり、文化・スポーツ合宿の新規誘致数の実績は3団体となった。
- ・ 山形県総合文化芸術館における魅力ある公演・イベントの年間を通じた安定的な開催、遠方からの来館促進のための旅行商品造成等により、県内各地・県外から多くの来館があった。令和4年度の来館者数は473,853人となり、目標（26万人）を大きく上回った（再掲）。
- ・ 県外で本県の文化を発信するため、山形交響楽団東京公演を支援し、本県の観光地や県産品・文化施設等をPRした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により減少したスポーツに触れる機会を創出するため、

<p>スポーツイベントを開催した。</p> <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化スポーツ合宿の誘致やイベントの拡大 ⇒ 県内のスポーツ施設や宿泊施設を活用した合宿誘致やイベント開催を実施していく。 山形県総合文化芸術館の利用者との意見交換会等を実施し、利用促進に向けた意見等を聴取し、施設の管理運営や企画事業の検討等に反映させるとともに、引き続き旅行者による旅行商品の造成を働きかけるなど、県内外からの来館者を増やすための取組みを進めていく。(再掲) 山形交響楽団の東京公演に対して引き続き支援し、本県の文化・観光の魅力を発信する取組みを進める。 <p><海外との相互交流の促進></p> <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、ホストタウンを契機とした相手国・地域とオンラインでつながるなど、工夫を凝らした交流や情報発信が行われた。 <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピックが終了し、ホストタウン交流は一つの区切りを迎えるが、交流事例の紹介などにより、引き続き国際交流を推進していく。
--

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
文化団体等連携 支援事業費(再 掲)	98,314 (98,758)	・県内の主要な美術館・博物館が実施する企画展及び山形交響楽団の活動への支援(美術館等の企画展等32事業への支援、山響の主催公演61事業等への支援を実施)	8
山形県文化芸術 交流発信事業費 (再掲)	26,725 (26,760)	・県と文化団体との共同による地域のホール等を活用したオペラや演劇などの文化芸術鑑賞機会の提供(文化芸術鑑賞機会19事業実施)	8
文化による地域 への愛着・誇り 醸成事業費(再 掲)	4,591 (4,975)	・子ども達の伝統芸能や文化芸術活動の発表の場と地域で守り継がれてきた民俗芸能や伝統文化体験機会を創出 ・親子で気軽に伝統文化体験や民俗芸能の鑑賞をしてもらう「山形伝統芸能フェスタ」を開催	8
文化財指定業務 費	2,565 (2,781)	・文化財保護審議会の開催(3回)及び文化財調査を実施(5日間)	8
文化財保護事業 費	48,076 (51,212)	・国・県指定文化財の保存修理(国宝羽黒山五重塔など19件)等への支援の実施	8
「未来に伝える 山形の宝」登録 制度推進事業費	3,364 (3,623)	・地域の文化財を保存・活用する取組みについて2件新規登録するとともに、既登録団体5団体の取組みについて補助を実施	8
文化財管理・防 災推進事業費	3,045 (3,059)	・国・県指定文化財の管理・防災対策状況等の把握のためのパトロールの実施(4件)及び所有者向け文化財日常管理・防災ハンドブック(美術工芸品編)の第一原稿案作成	8
日本遺産魅力発 信推進事業費	1,792 (1,900)	・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」を活用した取組みの実施及び	8

		情報発信	
埋蔵文化財保護事業費	13,050 (13,056)	・農林公共事業に係る発掘調査(2件)及び埋蔵文化財の普及啓発を実施(埋蔵文化財センターへの委託)	8
山形県総合文化芸術館事業費(再掲)	20,246 (20,290)	・指定管理者との共催により、山形県総合文化芸術館を活かした本格的な舞台芸術鑑賞事業・施設に親しむ体験型事業を実施	8
県民会館管理運営費	271,480 (271,516)	・旧山形県県民会館の解体工事を実施(1年目)	8
スポーツ振興・地域活性化推進事業費	5,552 (6,326)	・山形県スポーツコミッションを中心としたスポーツイベント(パブリックビューイングやモルック)の開催、文化・スポーツ合宿等の県内への誘致促進や交流の拡大	8
プロスポーツ支援事業費(再掲)	128,253 (128,847)	・県内プロスポーツチームへの支援(3チーム) ・プロスポーツを活用した地域の賑わいづくり活動への支援等	8
計	627,053 (633,103)		

3 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(3) 国内外の活力を呼び込む多様で重層的な交通ネットワークの形成【5-2】



施策の推進方向と主な取組み

⑤ 国際ネットワークの形成促進

外国人旅行者受入数（再掲）					
	基準値（平成30年度）：252,289人				
	R2	R3	R4	R5	R6
指標値	—	—	—※	520,000人	600,000人
実績値	125,930人	17,083人	57,451人 (速報値)		
進捗状況	その他（新型コロナの影響で指標値を設定せず）				

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る入国制限が継続され、令和4年度の動向について見通すことが困難であったため。

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<三大都市圏や近隣県の国際空港との連携>

（評価）

- ・ 仙台空港や東北観光推進機構、隣県等と連携し、台湾において仙台空港への国際線再開に向けた誘致活動を実施した。（再掲）
- ・ 外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田空港・成田空港）から本県への旅行商品造成のため、インフルエンサー招請やOTA（オンライントラベルエージェント）での情報発信を行った。（再掲）

（見直しの方向性）

- ・ 隣県や関係機関と連携し、国際線再開の機を逃さずに仙台空港からのF I T層の山形への誘客を図る。（再掲）
- ・ JR東日本や新潟県と連携し、外国人専用鉄道パスを活用した首都圏（羽田・成田空港）から本県への直接的な誘客を図る。（再掲）

<広域的な移動を支える二次交通の充実>

（評価）

- ・ 南東北重販開催にあたり、交通の拠点となる駅と観光地などを結ぶバス運行への支援や県内各地域で実施する観光客のお出迎え（パンフレットやノベルティの配付等）支援等を実施し、受入態勢を整備した。（再掲）

（見直しの方向性）

- ・ 引き続き、観光地までの二次交通整備やおもてなしへの支援を実施し、受入環境の向上を図る。（再掲）

<酒田港の機能強化>

（評価）

- ・ 外航クルーズ船の運航再開に向けた国の動向を注視しつつ、船会社やランドオペレーターへの招請、受入再開を見据えたセミナーなどを実施した。（再掲）
- ・ 日本における外航クルーズ船の運航が再開され、令和5年4月の酒田港寄港に向けて、ガ

<p>イドラインに対応した受入態勢を整備した。 (見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外航クルーズ船について、隣県と連携し運航決定権のある船会社幹部の招請など誘致活動を継続する。(再掲)

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
ポストコロナに向けた観光復活推進事業費(再掲)	39,428 (41,491)	・外国人旅行者の本県への誘客のため、インフルエンサー招請やOTAを活用した情報発信、誘致活動を実施	11
観光キャンペーン推進事業費(再掲)	29,160 (29,160)	・官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」の負担金	11
外航クルーズ船誘客事業費(再掲)	1,246 (1,246)	・官民一体となったプロスパーポートセールス協議会を中心に、船社及びランドオペレーター各1社の招請、受入再開セミナーなどを実施	11
計	69,834 (71,897)		

⑥国内広域交通ネットワークの充実強化

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<p><広域的な移動を支える二次交通の充実> (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南東北重販開催にあたり、交通の拠点となる駅と観光地などを結ぶバス運行への支援や県内各地域で実施する観光客のお出迎え(パンフレットやノベルティの配付等)支援等を実施し、受入態勢を整備した。(再掲) <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、観光地までの二次交通整備やおもてなしへの支援を実施し、受入環境の向上を図る。(再掲)

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
観光キャンペーン推進事業費(再掲)	29,160 (29,160)	・官民一体となった誘客拡大を推進する「やまがた観光キャンペーン推進協議会」の負担金	11
計	29,160 (29,160)		

(4)地域の豊かな自然と地球の環境を守る持続可能な地域づくり【5-3】



施策の推進方向と主な取組み

⑦自然環境や文化資産の保全・活用・継承

K P I	地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒の割合					
	基準値（令和元年度）：小6：85.7%、中3：65.9%					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	指標値	—	—	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%	小6：90% 中3：70%
	実績値	—	小6：77.0% 中3：59.8%	小6：71.6% 中3：55.3%		
進捗状況	策定時を下回る					

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<文化資産の活用・継承>

(評価)

- ・ 山形県文化財保存活用大綱に基づき、文化財を確実に次世代へ継承するため、保存とその活用にかかる各種取組みを実施した。
- ・ 地域の文化財を保存・活用する取組みについて「未来に伝える山形の宝」として登録するとともに、登録団体への補助を行った。また、コロナ禍において民俗芸能の発表が難しい中、「やまがた伝統文化フェスタ」において「ふるさと芸能のつどい」を開催し、県内3団体に出演発表いただくとともに、団体同士がゆるやかにつながることができるネットワーク構築を支援した。
- ・ 日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及び「山寺と紅花」を活用し、小学生を対象とした親子伝統文化体験事業を実施した。コロナ禍のため少人数の実施となったが、体験の様子を撮影して楽しく学べる番組仕立ての動画を制作し、動画告知チラシを構成市町の小学校に配付し広く周知した。

(見直しの方向性)

- ・ 文化財の保存と活用の好循環の推進
 - ⇒ 引き続き、県文化財保存活用大綱に基づき、文化財を確実に次世代へ継承するために、保存と活用の好循環につながる取組みを実施する。
- ・ 伝統文化・民俗芸能の継承
 - ⇒ 引き続き、地域の文化財を保存・活用する取組みを掘り起こし、「未来に伝える山形の宝」登録制度への新規登録を推進し、支援を行う。
- ・ 日本遺産の活用
 - ⇒ 引き続き、日本遺産を活用し、観光振興、地域活性化を図るとともに、人材育成、普及啓発の取組みを通して文化資産の保存・継承に繋げていく。

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業費（再掲）	3,364 (3,623)	・地域の文化財を保存・活用する取組みについて2件新規登録するとともに、既登録団体5団体の取組みについて補助を実施	4

日本遺産魅力発信 推進事業費（再 掲）	1,792 (1,900)	・日本遺産「出羽三山『生まれかわりの旅』」及 び「山寺と紅花」を活用した取組みの実施及び 情報発信	4
文化財保護事業費 （再掲）	48,076 (51,272)	・国・県指定文化財の保存修理（国宝羽黒山五重 塔など19件）等への支援の実施	4
埋蔵文化財保護事 業費（再掲）	13,050 (13,056)	・農林公共事業に係る発掘調査（2件）及び埋蔵 文化財の普及啓発の実施（埋蔵文化財センタ ーへの委託）	4
計	66,282 (69,851)		

(5) 地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成【5-4】



施策の推進方向と主な取組み

⑧県を越えた交流連携の推進

【令和4年度における評価と見直しの方向性】

<p><多様な分野における近隣県等との交流連携の推進> (評価) ・ 仙台空港や東北観光推進機構、隣県等と連携し、台湾において仙台空港への国際線再開に向けた誘致活動を実施した。(再掲) (見直しの方向性) ・ 隣県や関係機関と連携し、国際線再開の機を逃さずに仙台空港からのF I T層の山形への誘客を図る。(再掲)</p> <p><目的指向型の国際交流・連携の推進> (評価) ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、本県において文化・スポーツ合宿を行う団体を支援し、海外からの合宿誘致も行われた。 (見直しの方向性) ・ 引き続き、本県において文化・スポーツ合宿を行う団体を支援していく。</p>
--

【令和4年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
重点市場のポストコロナに向けた誘客推進事業費(再掲)	50,072 (88,254)	<ul style="list-style-type: none"> 現地観光コーディネーターによる現地情報の収集や本県観光情報の発信等による重点市場(台湾、中国、香港、韓国、ASEAN)からの誘客推進 他県空港から入国した外国人旅行者を誘客するための旅行会社への支援を実施 台湾、香港、韓国、タイでの現地プロモーションを実施 	11
スポーツ振興・地域活性化推進事業費(再掲)	5,552 (6,326)	<ul style="list-style-type: none"> 山形県スポーツコミッションを中心としたスポーツイベント(パブリックビューイングやモルック)の開催や文化・スポーツ合宿等の県内への誘致促進 	11
計	55,624 (94,580)		